

温泉微粒子を利用したお土産・お菓子・食品・アート作品の提案

～温泉観光地の新しい名物の創出と地域活性化を目指して～

名城大学農学部

天野健一（准教授）、梶田龍希（学部 4 年）

（はじめに）

温泉水の中には微粒子が存在します。そこで我々は、温泉観光地における新しい名物の創出、温泉街の活性化を想定し、温泉微粒子を着色料（絵具）として利用したお土産・お菓子・食品・アート作品を提案します。例えば、温泉中に湯垢のように浮遊するものを、着色料として利用すると見栄えが良くありません。しかし、十分に細かい（粒径の小さな）微粒子であれば見栄えが良くなりました。そこで我々は、（市販のキッチンペーパー等では上手く採取できないので）研究用のメンブレンフィルターを用いて微粒子を採取してみました。すると、十分細かい微粒子が適量採取できました。この温泉微粒子を用いて我々は、お菓子をデコレーションしてみました。以下に作成した作品の写真を載せておきます。

（作品例：未熟ではありますが・・・）



温泉アートプリン



温泉アート羊羹



温泉アートせんべい



温泉アート饅頭



温泉アートクッキー1



温泉アートクッキー2



温泉アートラスク

手前から 1枚目：後ろ姿
2枚目：横顔
3枚目：正面

(将来性・価値)

(1)：お土産・お菓子としての新規性

温泉観光地では様々なお土産が販売されています。ご当地の食材、名物を利用したお土産が多数存在します。温泉で茹でた茹で卵や、温泉でふかした饅頭なども存在します。しかし、温泉微粒子を着色料として利用したお土産は我々の調べる限り見当たりませんでした。よって、温泉微粒子で着色した食品には多かれ少なかれ新規性があると考えられます。

(2)：温泉の疑似体験

観光客の方々には、温泉に入り温泉を満喫してもらいたいものだと思います。しかし、温泉に入る事だけが観光の楽しみでは無いと誰しもが知っていると思います。例えば、旅館の中や温泉街を散策したり、お土産を見たり、食事をする事もまた観光の楽しみです。そこで、我々が提案する温泉微粒子を用いた食品は、温泉に入浴せずとも現地の温泉を目や舌で体験できるものとも言えます。入浴以外での、温泉の新しい楽しみ方を提供できるとも考えられます。

(3)：健康への影響

飲泉には健康効果があると言われます。ゆえに、温泉微粒子にも健康効果がある可能性があります。さほど健康効果が無かったとしても、温泉微粒子を利用した食品は次のようにアピールできなくも無いと考えられます。例：「健康に良いとされる飲泉水から採取した微粒子を利用」と銘打って製品をアピール。ただし、もっと大きなアピールをする場合は、実際に温泉微粒子に健康効果がある事を科学的に証明する必要があります。

(4)：温泉微粒子の味について

ほとんどの場合、飲泉水は美味しくありません。また、飲泉水中には比較的多くの塩が溶解している場合があり、塩分摂取を控えたい人にとって飲泉は推奨されるものでは無い可能性があります。しかし、メンブレンフィルターで採取した温泉微粒子は私の感覚では、不味くも美味しくも無いものでした。これは、美味しくない飲泉水と比較すれば、長所かと思われれます。

(5)：アート作品にも利用できる温泉微粒子

温泉をイメージして作成したアート作品は沢山あります。しかし、実際に現地の温泉資源、つまり、温泉微粒子を絵具とした温泉アートは我々の調べる限り見当たりませんでした。ゆえに、温泉微粒子からなるアート作品で、新しい文化の創出が出来る可能性があります。温泉微粒子で書道してみるのも面白そうです。温泉アート展覧会などを開く事で、温泉観光地の活性化が出来る可能性もあります。

(6)：その他考えうる温泉微粒子を利用したお菓子

温泉微粒子は「塗る」という事だけでなく、透明なゼリーの内部に入れて金魚などの美しい絵や模様を描いたり、白あんに入れて白あんを着色するなど、他の用途にも利用できる可能性があります。